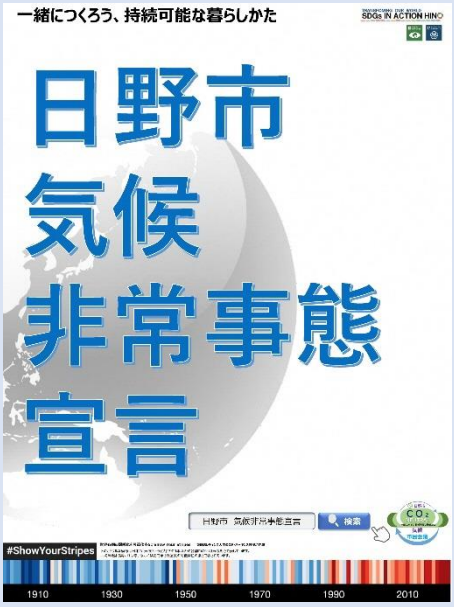
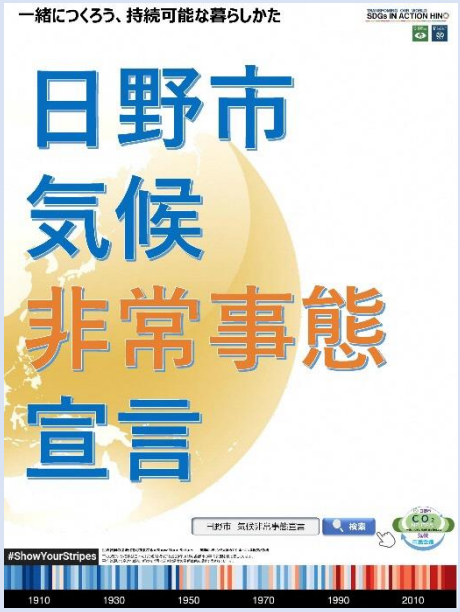
令和4年度（2022年度）

日野市環境活動情報レポート





日　野　市

日野市気候非常事態宣言ポスター(表紙の絵)

日野市は、2022 年 11 月に発出した「日野市気候非常事態宣言」を市民へ周知するため、日野市内の 4 駅（JR 東日本の日野駅・豊田駅、多摩モノレールの高幡不動駅、京王線の高幡不動駅）に、啓発ポスターを掲示しました。

ポスターのデザインとして、日本の平均気温の変化を可視化した「気候ストライプ」を採用しました。気候ストライプは、日本の年間平均気温を基準に、平年よりも高ければ赤、低ければ青というように、温度の高低を色の濃さで示しています。1990 年以降は、平均気温から下がることはほとんどなく、平均気温よりも高いことを示す「赤色」が濃い傾向となっています。

気温の変化、地球温暖化の移り変わりイメージ、気候市民会議への取組む決意を示したこのポスターを、今年の表紙として選びました。

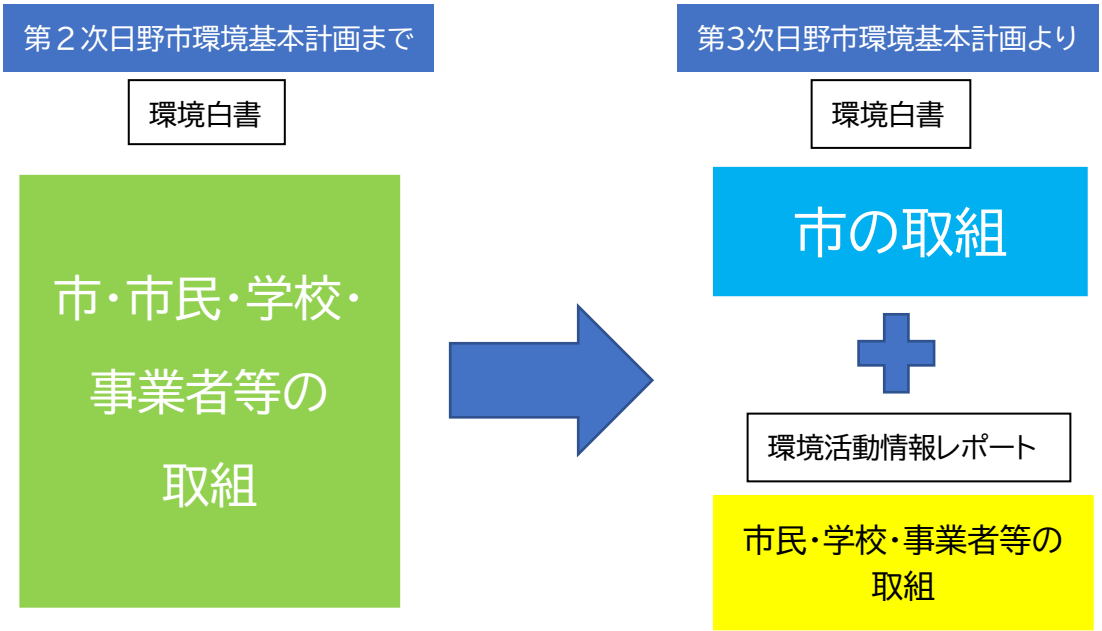
日野市環境活動情報レポートの位置付け

本書にまとめた市民、市民・行政との協働、学校等及び事業者による環境への取組は、令和4（2022）年度までは、第１次及び第２次日野市環境基本計画に基づき、取組主体を市・市民・事業者として環境白書にて紹介していました。日野市環境審議会より意見をいただいたことから、令和５年度より、市民、学校及び事業者など様々な主体による環境への取組の紹介等については、「環境白書」とは別に、「日野市環境活動情報レポート」として発行することといたしました。

日野市環境活動情報レポートは、「今まで環境活動を知らなかった人々へ、団体やその活動について知ってもらう」ことを目的に今後、毎年公表してまいります。

※日野市環境基本計画は、日野市環境基本条例（平成７（1995）年10月５日施行　条例第18号）第９条に基づき策定するもので、平成11（1999）年に第１次日野市環境基本計画を策定、２度の改定を経て、現在は第３次日野市環境基本計画（令和４（2022）年４月１日改定）が施行されています。

※日野市環境基本計画に基づき実施される環境の保全等に係る取組は、日野市環境基本条例第18条に基づき「日野市環境白書」として、その結果を公表しています。



令和４年度（2022 年度）日野市環境活動情報レポート

― 目 次 ―

・日野市環境活動情報レポートの位置付け

1 １章 市民における環境への取組状況……1

2 ２章 幼稚園・保育園における環境への取組状況……26

3 ３章 小学校における環境への取組状況……29

4 ４章 中学校・高校における環境への取組状況……32

5 ５章 大学における環境への取組状況……34

6 ６章 事業者における取組状況……36

1章　市民における環境への取組状況

この章では、日野市で様々な環境活動に取り組んでいる市民（市民団体含む）の活動内容等について紹介します。

団体一覧

団体名称（50 音順）	掲載ページ
浅川潤徳水辺の楽校	2,3
NPO法人環境教育ネットワーク	4
倉沢里山を愛する会	5
認定NPO法人子どもへのまなざし	6
市民環境大学OB会	7
特定非営利活動法人　樹木・環境ネットワーク協会	8
真堂が谷戸蛍の会	9,10
滝合水辺の楽校「浅川っ子の会」	11
南丘雑木林を愛する会	12,13
八王子・日野カワセミ会	14
東豊田緑湧会	15
ひの市民リサイクルショップ回転市場	16
ひの炭やきクラブ	17,18
日野団塊世代広場	19
ひのどんぐりクラブ	20
日野の自然を守る会	21
ひの・まちの生ごみを考える会	22
みどりワクワクチーム	23
谷仲山緑地を守る会	24,25

団　体　名	浅川潤徳水辺の楽校
代 表 者 名	笹木　延吉
連 絡 方 法	電話:090-6029-1811 e-mail:eisvogel311@jcom.zaq.ne.jp 緑と清流課、潤徳小学校
団 体 案 内 (目的･趣旨)	日野市の中央を流れる母なる川”浅川”及び向島用水を舞台に、子供たちが川の持つ豊かな自然に触れる事により、自然の大切さ、楽しさ、怖さ等を学び、それを地域のボランティア、小学校、行政がサポートしていく活動です。又、農家から田んぼを借用し 5 年生の授業として米作りを種蒔きから実践しています。種蒔き、田植え、夏の草取り、稲刈り、脱穀、水車で精米、餅つき大会、どんど焼きなどの体験学習を実施しています。
設　立　年	2004 年
主な活動内容	○水辺(川原)で昔あそび、水質調査、魚取り水泳、植物、昆虫、野鳥などを観察 ○どんど焼きをPTA、教員、消防団、ボランティアで開催 ○多摩川子供シンポジュウムに参加(多摩川流域の交流) ○米作りは 5 年生の授業で種まき～どんど焼きまで指導 ○浅川潤徳水辺の楽校推進協議会を毎月開催(市民、PTA、行政、ボランティア) 活動報告については、次ページ別表の通り
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	○浅川高幡橋～万願寺歩道橋～新井橋まで及び向島用水
活　動　日	催し及び協議会は毎月 1 回程度。米作りは 6 月～12 月
会　員　数	10 名
募　　集	加入については、いつでも大歓迎
そ　の　他	
自 由 記 載	”18 年間続いている米作り”新井の農家より無償で田んぼを借用し、2005 年から潤徳小 5 年生の授業として指導しています。種蒔き:潤徳小裏庭で、種蒔きトレーに子供たちが一粒づつ丁寧に種をまきます。そして 1 ヵ月間朝晩水やりをします。田植え:どろんこになって田植えを実施。夏の草取り:炎天下、皆で草取り。稲刈り:鎌を上手に使用。カエルなど生き物との交流も。脱穀、水車で精米:「水車プロジェクト」の応援で向島用水の水車で精米などの体験。餅つき大会:1 人、1 人杵でお餅つきを体験し、皆で会食。どんど焼き大会:1 月の第 3 日曜日に浅川川原で子供たちが願いを込めたお習字や作文などが炎で天に舞います。

令和4年 浅川潤徳水辺の楽校推進協議会

令和4年度（2022） 事業報告

年	月	日	曜日	時間	行　事	内　容	備　考
4	4	17	日	9:00～	多摩川・浅川クリーン作戦に参加	浅川ふれあい橋付近、向島用水清掃	中止
	5	7	土	10:00～	「浅川で遊ぼう1」	竹馬、竹笛づくり、竹ぽっくり、天狗の下駄、石絵、豚汁、その他	中止
	”	11	水	8:10 ～	種まき（学校内）	潤徳小5年生	●水口、全　員
	6	5	日	10:00～	「浅川で遊ぼう2」 身近な水環境の一斉調査	子供中心に用水で3箇所ふれあい橋下1箇所	●小倉、竹山
	”	20	月	8:10～	田植え	潤徳小5年生	●水口、全　員
	7	16	土	8:00～	「浅川で遊ぼう3」浅川の河口（干潟）探検	川は流域で考えることから、浅川の河口の干潟を体験する。	中止
	”	26	火	13.00～	田圃の草取り	潤徳小5年生	●水口、全　員
	8	6	土	10:00～	「浅川で遊ぼう4」	思いっきり、水遊び（水泳など）	中止
	”	26	金	8:10～	田圃の草取り	潤徳小5年生	●水口、全　員
	9	3	土	10:00～	「浅川で遊ぼう5」	バッタ取りと植物観察（杉浦氏）	中止
	10	13	木	8:10～	稲刈り	潤徳小5年生	●水口、全　員
	11	1	火	8:10～	脱穀	潤徳小5年生	●水口、全　員
	”	20	日	9:00～	日野市地域清掃に参加	浅川ふれあい橋付近、向島用水清掃	中止
	”	24	木	8:10～	水車で籾摺り	潤徳小5年生	●佐藤、水車プロジェクト
	12	上旬	火	8:20～	水辺の楽校発表会	潤徳小体育館	中止
	”	17	土	11:30～	多摩川子供シンポジュウム	多摩川流域の水辺の楽校が集う発表会	●竹山、笹木、市
	”	18	日	9:00～	ササ刈り	どんど焼きお団子の串用	中止
	”	下旬	木	8:30～	餅つき大会	潤徳小5年生	中止
5	1	14	土	9:00～	どんど焼き準備	お団子づくり、やぐら作りなど	中止
	”	15	日	10:00～	「浅川で遊ぼう6」	どんど焼き大会	中止
	2	25	土	10.00～	「浅川で遊ぼう7」	浅川で野鳥観察	●村岡、全員

団　体　名	NPO 法人環境教育ネットワーク(旧:比留間塾環境プロジェクトクラブ)
代 表 者 名	比留間 文彦
連 絡 方 法	電話:042-584-0900 FAX:042-581-9909 e-mail:hiruma.b@tbf.t-com.ne.jp
団 体 案 内 (目的・趣旨)	当法人は日野市を中心に活動し、地域の素晴らしい潜在的な様々な資源を掘り起こし、それらを顕在化させる事を一義的な目的とする。そして、その顕在化した人的及び物理的資源を活性化させる事で、障害者や高齢者、健常者など全ての地域住民が協働し、活力ある思い遣り溢れるコミュニティを形成する事を最終的な目的として活動している。
設　立　年	2002 年
主な活動内容	2022 年 5 月～9 月(全 14 回講義) 古文書に残る公害実例から現代の環境問題に関する講義 参加人数:(大学生対象)延べ 3,000 人 2022 年 4 月 30 日～2023 年 3 月 25 日(全 7 回) 児童障害者通所施設において身近な科学現象の「見える化」実験を実施 参加人数:(児童・生徒、介護者及び保護者)延べ 244 人 2022 年 6 月 19 日 カワセミハウス環境パネル展参加 基礎的科学実験 4 種類を実施 参加人数:延べ 200 人 2022 年 4 月 24 日～2023 年 3 月 26 日(全 12 回) ファラデーの著書「ロウソクの科学」を学ぶ基礎講座実施と手引書作成　参加人数:(弊法人会員)延べ 60 人 2022 年 10 月 15 日 オクトーバーフェスト出展 基礎的科学実験 4 種類実施 参加人数:延べ 500 人 環境パネル展の様子 オクトーバーフェストの様子
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	大学、大学院、児童障害者通所施設、社会福祉法人、公共施設など
活　動　日	基礎的科学実験(児童障害者通所施設):　毎月最終土曜日 定期勉強会(日野市立カワセミハウス):　毎月第 4 日曜日など
会　員　数	10 名
募　　集	―
そ　の　他	理事長のアメーバブログ:日々是臥薪嘗胆(ひびこれがしんしょうたん)。
自 由 記 載	【その他の活動】 2022 年 8 月 11 日 社説勉強会 参加人数:10 人

団　体　名	倉沢里山を愛する会
代 表 者 名	田村はる子
連 絡 方 法	連絡先　事務局(田村)　電話:042-592-5859 E メール:kurasawasatoyama@gmail.com
団 体 案 内 (目的・趣旨)	日野市百草の倉沢地域で一体の里山的な景観を永く残し、市民の手でエコ循環も実践しながら、緑地の維持・管理活動を通じて雑木林や農地の緑に親しみ、同時に会員並びに地域の市民相互のコミュニケーションを深めていくことを目的としている。
設　立　年	2000年
主な活動内容	下草刈り、落ち葉掃き、樹木の手入れ、外来種除去、里山内の市民農園の管理、落ち葉の腐葉土作り、牛糞、馬糞、鶏糞等地域内でのエコ循環 希少植物の保護・育成(絶滅危惧植物あり)外部の諸団体・学校等からの見学・体験参加の受け入れ 里山全体の保全のための市民や行政への働きかけ
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	日野市百草倉沢地区の公有緑地(数か所)を拠点として活動
活　動　日	毎月 2～4 回　その他フィールド内の果樹の手入れ、収穫、市民農園アリスの丘等の運営管理
会　員　数	120 家族、登録人数 200 名
募　　集	趣旨に賛同頂ければ、季節を問わず、いつでも入会できます。
そ　の　他	ニュースレター年間 4 回季刊発行、 ホームページ(https://sites.google.com/view/alice-fm/)
自 由 記 載	雑木林を中心とする緑地の基本的・日常的な維持・管理をしています。

団　体　名	認定 NPO 法人子どもへのまなざし
代 表 者 名	中川　ひろみ
連 絡 方 法	e-mail:info@manazashi2009.sakura.ne.jp TEL:042-843-1282(月～木　10 時～17 時)
団 体 案 内 (目的･趣旨)	私たちは、子どもたちが地域のあたたかいまなざしの中で育ち、豊かな子ども時代が保障される社会の実現を目指してます。あなたの『子ども時代』を思い出してください。「誰と、どこで、何をして」遊んでいましたか？ 子どもにとっては『あそび』は生きることそのものです。こんな時だからこそ、子どもにとっての『あそび』の価値を発信し、「子ども時代のあそびを保障する」大人の役割について考えていきたいと思います。
設　立　年	2009 年
主な活動内容	①プレーパーク「なかだの森であそぼう！」の開催：毎週金曜日と第二･第三土曜日 (年間 70 日程度) ②フリースペース「たけのこ」の運営：毎週月～木　9 時～16 時 30 分　定員 15 名 ③野外保育「まめのめ」(認可外保育施設) 月～金　9 時～17 時　定員 40 名 ④子どものあそびを保障する「あそべ！子どもたち」事業 対象：年中～小6　主に夏休みや冬休みに開催 ⑤仲田の森蚕糸公園等清掃管理(委託事業) 月 8 回程度　清掃業務を実施
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	浅川、多摩川、仲田の森蚕糸公園、多摩丘陵など
活　動　日	事業によって活動日が異なります。詳しくはお問合せください。
会　員　数	正会員　71名　　応援会員　90名
募　　集	プレーパークは 0～18 歳の子どもだけでなく、大人の方も大歓迎！遊びに来てくださいね。
そ　の　他	乳幼児の親子を対象として季節の恵みや外遊びを楽しむ「野遊びの時間」を年 8 回開催しました。
自 由 記 載	2022 年 4 月より、フリースペース「たけのこ」を開設しました。学校に行けない(行かない)　子どものための居場所です。 西平山の豊かな自然の中で、毎日のびのび過ごしています。 子どもはもちろん、関わる全ての大人も支え合い、育ち合う場を目指して「子どもが主人公の居場所づくり」に取り組んでいます。そのためには、多くの皆様のご支援が必要です。 どうぞよろしくお願いいたします。 ※当団体は 2022 年 8 月に認定 NPO となりました。 ご寄付を頂いた場合、寄付金控除の対象となります。 ◎ホームページ、Facebook は隣の QR コードからどうぞ！ インスタグラムも随時更新中！ HP　　Facebook

団　体　名	市民環境大学OB会
代 表 者 名	飯島　利三
連 絡 方 法	（代行）原田　武司 mail:fnusaxtg@yahoo.co.jp　電話:090-8892-0426
団 体 案 内 （目的･趣旨）	2009 年に開講した小倉先生による「市民環境大学」講座の受講生により、2 年後の 2011 年に「市民環境大学」で学んだことの実践を目的に発足。個人を尊重しあい、意見が異なる場合も意見の統一を行わない、穏やかな組織体として活動していくことをモットーとしています
設　立　年	2011年
主な活動内容	☆2011 年 3 月　放射線量測定　毎月市内 6 カ所、延べ 121 回実施 ☆2012 年　　「身近な水環境の全国一斉調査」に参加　年 1 回 ☆2015 年　　OB会情報誌「ニュースレター」発刊 バックナンバーは市内図書館（中央・多摩平・高幡・市政）で閲覧可能 2023 年 12 月　47 号発行 ☆2016 年　　大気汚染測定運動に参加　年 2 回 ☆2017 年　　黒川公園周辺湧水量測定　毎月 4 地点を測定 ☆年 1 回「フィールドワーク」 2023 年「春の程久保川流域探訪」 過去「北野水再生センター」「日野市クリーンセンター」等見学会実施
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	カワセミハウス　集会室
活　動　日	定例会　毎月　1 回
会　員　数	延べ 50 数名　定例会出席者　12 名前後
募　　集	―
そ　の　他	―
自 由 記 載	会員の高齢化にどう対処していくかが当面の課題。

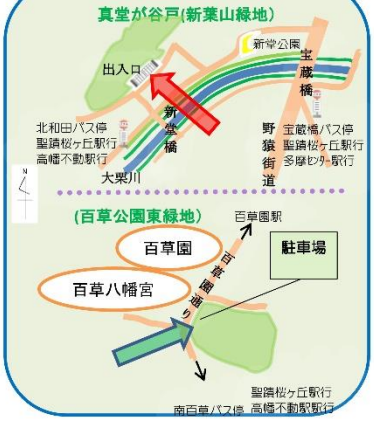
団　体　名	特定非営利活動法人　樹木・環境ネットワーク協会
代 表 者 名	理事長　清水善和
連 絡 方 法	協会事務局のメール：info@shu.or.jp　電話：03-5244-5447
団 体 案 内 （目的・趣旨）	「人と自然が調和する持続可能な社会」を取り戻すことを目的に、「森を守る（フィールド事業）・人を育てる（グリーンセイバー検定事業）・森と人を繋ぐ（環境コミュニケーション事業）」の3つのテーマを軸として活動を行う。
設　立　年	1995 年
主な活動内容	①フィールド事業…全国 13 か所の荒れた森や都市公園を、地域の方々と再生、保全し、新たな森の活用を推進する。 ②グリーンセイバー検定事業…自然環境や生態系の正しい知識を持つ人材育成のための資格検定の運営。 ③環境コミュニケーション事業…多様な主体とともに、環境活動の推進。企業の CSR 活動など。 日野市での活動は、このうち①フィールド事業で、多摩動物公園にて保全活動を実施。多摩動物公園内のライオンの森と、七生公園の昆虫の森・ビオトープが活動場所である（2023 年現在）。
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	多摩動物公園内のライオンの森と、七生公園の昆虫の森・ビオトープが活動場所である（2023 年現在）。
活　動　日	多摩動物公園（TAMAZO）の活動日は、原則第 1 土曜日と第 4 日曜日
会　員　数	樹木・環境ネットワーク協会の会員数は 453 名
募　　集	TAMAZO の活動への参加は当協会 HP からお申込み https://www.shu.or.jp/form/field01_form.php
そ　の　他	―
自 由 記 載	2020 年～2022 年までコロナ、ナラ枯れ、鳥インフルエンザなどでなかなか活動ができませんでしたが、ここにきてようやく活動が再開できました。市内のみなさんにも活動に参加していただけたら嬉しいです。

団　体　名	真堂が谷戸蛍の会
代 表 者 名	藤田正愷
連 絡 方 法	電話:090-4929-7362　又は事務局　笹木延吉:042-642-0422
団 体 案 内 （目的･趣旨）	日野市にわずかに生息する蛍を保全し、里山の生物多様性の復活。
設　立　年	2008 年
主な活動内容	活動は月三回、活動する場所は新葉山緑地と百草公園東緑地の二か所。年間の活動計画を立て作業を進めている。 不耕起栽培に伴う田んぼの整備、水管理、畔のかさ上げ、水路のかいぼり、川底の掃除、水路沿いのくい打ち、草刈りや樹木の処理、生物調査、散策路の整備、環境調査など多岐にわたる。 蛍の飛び交う時期には観察･調査のほか、市の「蛍の観察会」を共催で行う。 百草公園東緑地では果樹の剪定、施肥および、植物の保護、樹木処理、粗朶による柵囲い等を行う。 （アカガエルやヒキガエル） オタマジャクシの保護
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	新葉山緑地及び百草公園東緑地
活　動　日	月3回（第一月曜日、第三木曜日、第四土曜日）
会　員　数	26人
募　　集	日野市在住･在勤者、真堂が谷戸近隣の住民及び「日野市雑木林ボランティア講座」卒業生に対し、常時募集しています。
そ　の　他	クヌギ･コナラなどの枯れ枝が落下してくることが多くなり危険を感じている。
自 由 記 載	田んぼは通年湛水とし、田植えに関しては不耕起栽培を行い、アカガエルやヒキガエルの産卵した卵塊をサギやカルガモ、他の動物から守るために田んぼの周辺を柵で囲い保護しています。 ため池も異なる水深を設け幾種類かのヤゴが生育でき、多くのトンボが集まる環境作りも行っています。課題としては、少ないスタッフで蛍の観察会を開き、多くの来場者が訪れ観賞し感動していますが、蛍の保全活動に参加したいという希望者につながらないのが問題と感じています。会の運営は会費のみの少ない予算であるため、積極的な維持管理ができず、助成金申請作業負担も時として加わります。また蛍の生息する水路は、水量が少なく、日照りが続くと上流部が涸れる事態に発展するため蛍の幼虫やカワニナの生存が危ぶまれるため、安定した水量を確保する必要がありますが改善するには多額の工事費がかかるため、実現できていません。 次ページに、団体紹介パンフレットを掲載

日野市とのパートナーシップ協定

令和2年3月1日、真堂が谷戸蛍の会は日野市と緑地管理・運営及び供用に関するパートナーシップの協定を結びました。この協定は日野市と当会とが、信頼関係に基づき真堂が谷戸（新葉山緑地）と百草公園東緑地を協力・連携し、管理運営するというものです。これにより、日野市の貴重な蛍の生息地、真堂が谷戸と水源を持つ百草公園東緑地の雑木林などが維持保全され更に、蛍などの生き物の安易な放流の禁止や、生物多様性に基づく活動などについても明記され、私達の思いが次世代に引き継がれます。

真堂が谷戸(新葉山緑地)



真堂が谷戸

新葉山緑地：東西の丘陵があり、平地には蛍、カワニナの生息する水路、トンボ、ヤマアカガエル、オモダカなど水生生物が生息する田んぼとため池。 蝶や昆虫が舞う草地。丘陵には季節ごとの野鳥の声とクヌギ、コナラの落葉樹、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、コブシ、ジュウニヒトエ、ヤマユリ、キンランが咲く起伏にとんだ多様な生態系のある里山です。

百草公園東緑地：コナラ、ヤマツツジなどの樹林帯と柑橘類、種々の梅、キツリフネの群落のあるスロープ状の広々とした草地。 この緑地に接する東には真堂が谷戸脇を流れる水路につながる水源があり、緑豊かで見晴良好な場所です。

活動概要

日野市にわずかに生息する蛍を保全し、
里山の生物多様性の回復を目指す！！

- 活動場所：真堂が谷戸（新葉山緑地）
  および百草公園東緑地
- 活動内容：①蛍やカワニナ等の生息地の管理
  ②雑木林の管理 ③畑やビオトープの管理
  ④ホタルの調査（6～7月1ヵ月毎日調査）
  ⑤日野市と共催で「ホタルの夕べ」開催
  ⑥里山の動植物の調査等
- 活動日：第1日曜日、第3木曜日、第4土曜日
- 活動時間：9時30分～12時
- 年会費：2,000円（ボランティア保険料含む）
- 連絡先：代表　藤田正信　090-4929-7362
  事務局　笹木延吉　090-6029-1811

真堂が谷戸蛍の会

里山の生物多様性の回復をめざして

真堂が谷戸（新葉山緑地）

(百草公園東緑地)

蛍の夕べと観察会

2013年、当会では、市民に対し蛍を通して自然環境を守る事の大切さを知ってもらうため、日野市に呼びかけ「蛍の夕べ」を共催で開催しています。まず地区センターで蛍などの環境保護の基礎知識を学習してから観賞会が始まります。さらに、週末2回(4日間)、地域の方を対象に観賞会も開催しています。

里山の植物等調査活動

日野市の最新版の植物目録を作成するため、2021年2度にわたり、日野植物研究グループによる植物調査が行われました。 調査資料には、木本76種その他草本235種、全311種が記載されました。当会ではその資料に基づき雑木林の樹木にラベル付けを始め、主要な樹は幹回りを計り、図に表し、それぞれの位置をマップに納めました。

不耕起栽培の田んぼ

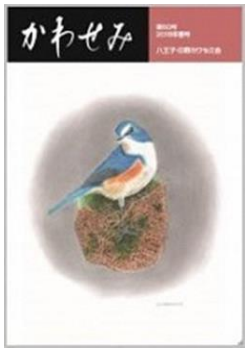
不耕起栽培は、冬期にも田んぼに水をはり、田植え後は除草剤や肥料は使わず、そのまま稲の生育を待って収穫します。冬期に水をはることで2～3月には、ヤマアカガエルが産卵のため、水を求めて田んぼに集まります。

団　体　名	滝合水辺の楽校「浅川っ子の会」
代 表 者 名	北川千里
連 絡 方 法	電話：042-587-6068
団 体 案 内 （目的・趣旨）	浅川沿いに建つ滝合小学校の子ども達が環境教育を学び、浅川を「遊べる川に」との願いから設立され、浅川清掃や川遊び等を通して自然の大切さを感じ、残していくことを目的として活動しているものです。
設　立　年	2006 年
主な活動内容	4月17日（日） 浅川クリーン作戦（大人 17、子ども 14） 6月19日（日） 染物体験（中止） 8月21日（日） 浅川で遊ぼう（中止） 11月27日（日） 浅川清掃（大人 13、子ども 6） R5　2月26日（日） バードウォッチング＆焼き芋（大人 30、子ども 25）
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	●滝合橋～長沼橋間　●滝合小学校、中庭にて
活　動　日	年5回　月末日曜日（その月の学校行事等で変更あり）
会　員　数	スタッフ11名　+滝合小学校生徒、家族自由参加
募　　集	滝合小学校の家庭へ手紙配布にてお知らせ
そ　の　他	今年度より、ホームページ開設 HP：https://sites.google.com/view/asakawatakiai/
自 由 記 載	―

団　体　名	南丘雑木林を愛する会
代 表 者 名	老沼　義正
連 絡 方 法	老沼：e-mail：ysnuma@jcon.zaq.ne.jp　事務局　笹木　延吉：090-6029-1811
団 体 案 内 （目的・趣旨）	日野市の雑木林を守るため、市民と行政との協働で開催している「日野市雑木林ボランティア講座」の卒業生を中心に、“明るく健全な雑木林を次世代に”をスローガンに 2007 年にスタートした雑木林を守るボランティア団体です。
設　立　年	2007年
主な活動内容	○南平丘陵公園を拠点に、雑木林の萌芽更新（ほうがこうしん）、間伐や除伐、下草刈り、粗朶柵作りなどの作業等を中心に活動しています。 ○特に萌芽更新は広場から見える地区を目標に萌芽更新エリアとして、「伐採⇒萌芽（ひこばえ）⇒モヤワケ⇒下草刈り」のサイクル作業を行い、明るい雑木林の維持管理を行っています。 ○林床の野草や野草園に身近な野草の保護、ひょうたん池では水溜りと水路を整備して水生生物の住処になるような取組をしています。 ○チェンソーや刈払機の使用に際しては、会員を安全講習会に派遣できるように努め、専門的な技術を習得しています。 ○チェンソーや刈払機の手入れは十分な時間を取り、誰でもが手入れができるようにしています。 ○「ボランティアは人のためにやるのではなく、自分のために目的意識のため活動するものです。」を合言葉に楽しい汗をかいています。 活動報告については、次ページ別表の通り
主 なﾌｨｰﾙﾄﾞ	南平丘陵公園
活　動　日	月2回：第2日曜日と第4木曜日、時間　午前 9 時 30 分～午後 3 時 （8 月と 12 月第 4 木曜日は休み）
会　員　数	26名
募　　集	日野市雑木林ボランティア講座での呼びかけ、南丘雑木林を愛する会の案内チラシなど
そ　の　他	日野市雑木林ボランティア講座の実習場所として、協力し応援しています。
自 由 記 載	

月	日	曜日	人数	活動内容	活動場所	主な使用機械
4 (R4)	10	日	21	ヤマザクラ傾斜木x2本、枯損木x2本伐採 園路杭手直し	南平高校側斜面	ﾁｪﾝｿｰ３台
	28	木	9	粗朶柵撤去整理、下草手刈り	公園入口左手斜面中央広場斜面	
5	8	日	23	総会 野草園　ひょうたん池の下草刈り	中央広場 野草園	刈払機３台
	26	木	12	ひょうたん池、野草園の簡易測量 下草手刈り	ひょうたん池 中央広場	
6	12	日	16	ひょうたん池整備の試掘 植物観察	ひょうたん池 公園	
	23	木	10	下草刈り　枯損木x1本伐採	野草園　中央広場	ﾁｪﾝｿｰ１台 刈払機３台
7	10	日	14	カシノキの除伐	南平高校側斜面	
	28	木	9	木杭200本仮置き/市からの支給品 下草刈り	ひょうたん池 野草園	刈払機２台
8				お休み		
9	11	日	14	枯れ木x3本伐採 植物観察	公園入口　新道 公園	ﾁｪﾝｿｰ２台
	22	木	6	下草刈り	野草園	刈払機２台
10	9	日	13	ひょうたん池整備／溜りと水路掘り 下草刈り	ひょうたん池	刈払機２台
	27	木	8	下草刈り	公園入口　管理所前	刈払機１台
11	13	日	15	ひょうたん池整備／溜り掘り、 木杭75本を打ち込む	ひょうたん池	刈払機２台
	24	木	8	真竹立掛け/雑木林講座実習伐採竹を入手 下草刈り	管理所横、前	
12	11	日	14	コナラx3本伐採 スウェーデントーチ試し作り	南尾根 中央広場	ﾁｪﾝｿｰ３台
1 (R5)	8	日	13	コナラx3本伐採	北尾根	ﾁｪﾝｿｰ４台
	26	木	6	ハリギリx7本伐採	東尾根	ﾁｪﾝｿｰ３台
2	12	日	13	コナラx3本伐採／雑木林講座用ホダギ	東尾根	ﾁｪﾝｿｰ３台
	23	木	6+ 4名	コナラx2本伐採／雑木林講座用ホダギ みどりワクワクチーム伐採体験	東尾根	ﾁｪﾝｿｰ３台
3	12	日	12+ 3名	ハリギリx4本伐採　椎茸植菌 雑木林講座生3名伐採体験	東尾根	ﾁｪﾝｿｰ４台
	23	木		雨天中止		

☆補足事項①活動場所は南平丘陵公園　②活動時間は午前９時 30 分～午後３時

団　体　名	八王子･日野カワセミ会
代 表 者 名	粕谷和夫
連 絡 方 法	粕谷和夫　E-mail：kasuya.kazuo688@gmail.com
団 体 案 内 （目的･趣旨）	日野市内および八王子市内で野鳥を観察する市民団体です。浅川や多摩川で野鳥の観察を通じて自然に接し楽しむこと、およびそのために野鳥が安心して棲める環境を作ることに協力することを目的としています。
設　立　年	1985 年
主な活動内容	★月1回会員及び一般市民を対象に浅川や多摩川で探鳥会を実施 ★20 ヶ所の地域で毎月1回、野鳥の生息数をカウント調査 20 か所のうち、日野市内では以下の 4 ヶ所で実施 浅川（長沼～一番橋）、浅川（一番橋から多摩川合流地） 多摩川（谷地川合流付近）、多摩川（浅川合流付近） ★8 ヶ所の東京都指定保全緑地地域で野鳥の生息数をカウント調査 8 ヶ所のうち、日野の市内では、東豊田地区で実施 ★その他、冬鳥･夏鳥の一斉調査、カルガモ･ツバメ･イワツバメ営巣調査、サシバの渡りなどの調査 ★小中学生に対する野鳥観察支援、他団体からの野鳥観察依頼に対し野鳥観察の支援 ★日本各地の野鳥観察地に出向き、地元の関係者との交流を通じた野鳥観察 
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	日野市、八王子市
活　動　日	365 日
会　員　数	261 名（2024.1.1 時点）
募　　集	随時（カワセミ会 HP から入会申込可能　http://kawasemi.main.jp/index.html
そ　の　他	野鳥が好きな方、自然保護に関心のある方の入会歓迎
自 由 記 載	2022 年に日野市の鳥カワセミの生息調査を実施しました。

団　体　名	東豊田緑湧会
代 表 者 名	羽吹春奈
連 絡 方 法	E-mail:higashitoyodaryokuyu@gmail.com
団 体 案 内 （目的・趣旨）	東豊田緑地保全地域の自然環境を維持し、植生の管理・保護・観察を通じて身近な緑地の保全保護を継続的にボランティアで行うことを目的とする。
設　立　年	1997 年
主な活動内容	2022年4月～2023 年3月 定例活動 ササ刈り、落ち葉掻き、枯損木処理、希少種保護等 2022 年5月～2023 年3月 東京都保全地域コーディネート事業 事業実施に伴う関係各機関との意見交換及び情報共有による作業計画への参画 2022年5月～2023 年 3 月 市内関係各者と情報共有・協働活動等 東豊田緑地保全地域連絡会　市内各種協議会等への参加 2022 年 11 月 東京グリーンシップアクション 東豊田緑地保全地域をフィールドとするボランティア団体として補助
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	東豊田緑地保全地域
活　動　日	第1・第3土曜日　午前9時30分～午後3時（原則）
会　員　数	14 名
募　　集	随時行っています。ご連絡ください。
そ　の　他	―
自 由 記 載	当会の活動フィールド「東豊田緑地保全地域」は東京都指定の緑地保全地域です。 緑地保全地域とは樹林地、水辺地等が単独で、又は一体となって自然を形成している市街地の近郊の地域で、その良好な自然を保護することが必要な土地の区域とされています。 当会は、主にその保全地域に設置された保護柵内で人の手による手入れが必要な区域での手入れを継続して行っています。 なお、「東豊田緑地保全地域」の一部は黒川清流公園として整備されており、そこは市民の憩いの場としての機能も果たしています。

団　体　名	ひの市民リサイクルショップ回転市場
代 表 者 名	加納衣子
連 絡 方 法	万願寺店：042-587-1781
団 体 案 内 （目的・趣旨）	日野市の支援のもと、市民のみなさんから無償で提供された中古衣類・雑貨品等の販売を通して「使い捨てのくらしを見直し①物を大切にする暮らし②ごみになる物を買わない暮らし③ごみを出さない暮らし」に変えていく呼びかけをし、それに役立つ情報の発信と実践活動をしています。また安全で環境に負荷の少ない石けん製品の販売もしています。売上金を店の運営・市民還元イベントなどに活用しています。
設　立　年	1992 年
主な活動内容	多摩都市モノレール万願寺駅前スーパーいなげや2階　万願寺店 開店時間・曜日：11 時～16 時/水曜日～日曜日（除く祝日） 夏季休店/年末年始休店あります ・フードバンクの受付窓口 ・2022 年 6/9（木）-26（日）　カワセミハウス環境パネル展参加 ・2022 年 7/8（金）-13（水）（月・火除く）4 日間 創立 30 周年記念フェアを開催 ・2022 年 11/13（日）まちづくり市民フェア 2022 に参加 ・2022 年 12/4（日）着物特別販売実施
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	回転市場万願寺店
活　動　日	店当番日・イベント開催日・作業日など
会　員　数	18 名
募　　集	活動の趣旨に賛同し一緒に活動していただける方
そ　の　他	活動費 1 時間 500 円支給/交通費実費支給
自 由 記 載	ひの市民リサイクルショップ回転市場は、市民活動団体です。 市の支援を受け、「ごみを無くし次世代により良い環境を残すために」を 目的に有償ボランティアとして活動しています。 ぜひご一緒に活動しませんか！

団　体　名	ひの炭やきクラブ
代 表 者 名	冨山(とみやま)　茂光
連 絡 方 法	携帯:090-8807-5437、mail:gg.mt.tomi222@gmail.com
団 体 案 内 (目的･趣旨)	「里山、雑木林管理の一環である”炭やき”を地域住民の理解を得て行い、産出された炭などを”炭やきは地球を救う”を合言葉に、日野市の多様な生物と持続可能な循環型社会創りに貢献する」
設　立　年	2008 年
主な活動内容	① 「鑑賞炭(お華炭)つくり体験講座」の開催 令和 4 年度(2022 年)も、令和 3 年度(2021 年)・令和 2 年度(2020 年)同様に、新型コロナウイルス感染者拡大の影響を受けました。 通常は 1 月(会員で開催)・4 月(会員による総会の開催)を除き毎月第二日曜日 10:00～15:00 に落川交流センターで開催。但し、2022/8/14 開催予定は新型コロナウイルス感染者拡大の為、一回中止致しました。年間活動日は「活動日」の項を参照。 ② NPO 法人市民活動ネットワークへの参加 4/26「まち活・二日目」(多摩平の森ふれあい館)へ参加。 10/22 支援センター大掃除。11/13 ねんも公園掃除。 11/13 市民フェアへは不参加(当初予定日と変更となった為) ③ カワセミハウスのイベント参加 5/21 カワセミハウス協議会。 6/4 オオブタクサ引き抜き大会。6/9～6/25 環境パネル展へ出展。7/30 カワセミハウス・環境分科会。 10/15 昨年同様に「オクトーバーフェスト」へ「マッチで薪を燃やそう体験講座」(マッチに初めて触る子供がマッチを擦り薪を燃やすまでを体験)と「ミニお華炭つくり体験講座」(モミジバフウの実を茶筒を使用して約 10 分間でつくるお華炭つくり体験)で参加。 11/19 カワセミハウス協議会。 2/4AM カワセミハウス協議会参加。 2/4PM カワセミハウス・環境分科会参加。 ④ 「みみネット(水と緑の日野・市民ネットワーク)」のイベント参加 9/24 シンポジウム『山本由美子さんを偲ぶ』へスタッフとして参加。 毎月第一木曜日、みみネット事務局としてみみネット会議へ参加。 ⑤ 落川交流センターのイベントへの参加 6/4 落川交流センター・運営委員会、総会へ出席。 9/23 ミニ夏祭り(8/21 予定がコロナ感染拡大で延期)にこんにゃくみそおでんと落川上自治会合同によるやきとり販売。 11/13 落川交流センター「ごみゼロ収穫祭」薪を燃やしての焼き芋を担当。1/29 もちつき大会。 ⑥ 「本窯炭やき窯」の見学会の開催 3/12 昨年度(2021 年)は一本杉公園・炭やき窯(運営:一本杉炭やき倶楽部・代表　祐乗坊　進氏)で炭やき実体験をしたが、本年度は体験出来なかった会員向けに「炭やき窯見学会」を実施した。又、一本杉炭やき倶楽部で謹製された黒炭を、クラブ懇親会 BBQ の燃料やクラブ作成の「炭鉢プラント」の台座としても使用している。

主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	日野市立落川交流センター（兼　日野市立林間公園）
活　動　日	「鑑賞炭（お華炭）つくり」体験講座の開催日 2022 年 5/8、6/12、7/10、8/14（コロナで中止）、9/11、10/9、11/20、12/11 2023 年 2/12、3/12
会　員　数	11 名
募　　集	① 日野市「広報ひの」の「みんなのメモ帳、講習・学習会」の欄で、開催月の体験希望者を募集 ② 地域活動・イベント紹介サイト「Hi Know!（ひのぅ）」掲載
そ　の　他	所属する団体及び所属団体が主催するイベントへの参加 ① 落川交流センター・運営委員会：毎月開催の炊き出しマルシェ、薪割り、ソーメン流し大会、ごみゼロ収穫祭、お正月餅つき大会 ② カワセミハウス協議会：環境パネル展、オクトーバーフェスト ③ みみネット（水と緑の日野・市民ネットワーク）：事務局、シンポジウム ④ ひの市民活動ネットワーク：「まち活」、「市民フェア」
自由記載	今までの『炭の有効普及活動』 イ、樹木の再生・土壌改良事業（樹木の鉢周りに木炭片の鋤き込み） ・「一ツ橋大学の正門前の大桜」東京都国立市大学通り・桜並木 ・「京王・百草園、梅ノ木（樹齢約700年・シンボルツリー）」 ロ、本窯炭やき協力事業「動物消臭用炭つくり」・「河川浄化用炭つくり」 ・「東京都多摩動物公園内炭窯」（現在は廃炉） ・日野市内「河川浄化」（市内の炭やき本窯3基共停止中の為活動停止） ハ、建物の除湿・調湿事業 ・「吉川英治記念館・書斎床下炭入れ（約 100kg）」2016（H28 年）年 6 月 19 日

団　体　名	日野団塊世代広場
代 表 者 名	増永　廣幸
連 絡 方 法	日野団塊世代広場事務所(日野市平山台健康・市民支援センター内) TEL:042-843-8723
団 体 案 内 (目的・趣旨)	団塊世代をはじめとするシニア世代が培ってきた各自の経験・技術を生かして、地域に役立つ、自らも生き生き生活できることをめざし、以下の二つを実現目標としています。 ・培った経験や知識、スキルを活かし、自分たち自身が地域で活躍する。 ・培った経験や知識、スキルを活かし、地域での活躍を目指す人達の支援をする。
設　立　年	2007 年
主な活動内容	「日野団塊世代広場」は、『生きがい、働きがい、地域がい』を持って、健康で生活を楽しみながら地域づくりに貢献することを目的として活動しています。 新選組まつり等のイベントのお手伝いやパソコン、太極拳などの教室も開催しています。 活動の一環として 2009 年から百草山での「明るい雑木林」作りに取り組んでいます。12 人で雑木林チームを編成しており、4 人は「雑木林ボランティア講座」の修了生です。活動としては、林の手入れ作業を行いながら次のような取組を行なっています。 ・植物の貴重種の確認など現況の調査及び自然観察会の実施 ・小中学生の自然教育の場としての昆虫観察会の実施 ・竹ぽっくりの製作、イベントにて子供たちに配布を行い子供の運動能力向上に資する ・産業まつりやまちづくり市民フェアに出展し、日野団塊世代広場の活動のPRや手作り品等の販売
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	京王百草園駅から徒歩 5 分、百草園の北側に隣接した雑木林主体の緑地
活　動　日	第 2 日曜日、第 4 土曜日午前 9 時～午後3時
会　員　数	23 人。百草山活動者 延べ 168 人/2022 年度
募　　集	ホームページ http://www.dsedai.com/ “日野団塊世代広場”で検索
そ　の　他	―
自 由 記 載	―

団　体　名	ひのどんぐりクラブ（日野市環境学習サポートクラブ）
代 表 者 名	成島 信子
連 絡 方 法	カワセミハウス（事務局） 電話・Fax:042-581-1164 E-mail:kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp
団 体 案 内 （目的・趣旨）	ひのどんぐりクラブはカワセミハウスと連携のもと、子ども達の環境学習を支援することを目的とし、主に市内の小中学校を中心に活動しています。
設　立　年	2007 年
主な活動内容	・学校内や学校周辺の緑地、公園、川原で野鳥や植物の観察、川遊びや魚捕り、虫捕り等の体験学習のサポート ・自然物（木の実や葉、枝等）を利用した工作 ・映像資料「日野の生きもの」「自然風景」等による学習 ・学校等からの要請に応じ、テキストや使用材料を提供 （支援メニューの例） ・ガサガサ（水生生物の観察） ・バッタ捕り ・葉っぱのスタンプ　・季節のビンゴ　・リースづくり ・まつぼっくりツリー　・どんぐりのコマやヤジロベー ・連凧 ・紙ヒコーキ作り
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	市内小中学校、公園、緑地、浅川、多摩川、カワセミハウス他
活　動　日	支援要請のあった日、定例会：月 1 回第一水曜日、研修会：年 1-2 回、 木のプレート作り等作業、木の実やツルなどの素材集め：随時
会　員　数	22 人
募　　集	会員募集！子ども達のエネルギーのなかで、人生の先輩として活動しませんか？
そ　の　他	ホームページ「ひのどんぐりクラブ」http://www.hino-donguri.com/index.html
自 由 記 載	私たちがサポートすることで、子ども達に自然の素晴らしさを実感する機会が増え、今ある環境を大切にする気持ちが育まれることを願って活動しています。 <活動実績> 2018 年度 支援数 101 支援対象人数（延べ）7,071 人 2019 年度 支援数 96 支援対象人数（延べ）7,254 人 2020 年度 支援数 42 支援対象人数（延べ）2,931 人 2021 年度 支援数 28 支援対象人数（延べ）1,710 人 2022 年度 支援数 42 支援対象人数（延べ）2,808 人

団　体　名	日野の自然を守る会	
代 表 者 名	会長　山本　浩	
連 絡 方 法	E-mail:mamorukai-info@hinonoshizen.sakura.ne.jp	
団 体 案 内 （目的･趣旨）	本会は、日野市の自然をまもり、市民の間に自然尊重の心を養い、その保全と復元に努力し、人間性豊かな社会の発展に寄与することを目的とする。	
設　立　年	1972 年	
主な活動内容	自然観察会による啓蒙･普及（毎月･数回） 自然に関する調査･研究･報告 自然について会誌「日野の自然」の発行（毎月） 行政への協力･支援 他、自然に関する講演等の協力、緑の募金などへの協力	 より鳥みどり観察会
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	日野市内を中心とした関東一円	
活　動　日	土日を中心に活動	
会　員　数	約 110 名	
募　　集	随時入会受付　新規入会金 1,000 円　年会費 3,000 円(4 月～翌年 3 月、会誌含む)	
そ　の　他	ホームページ URL：https//hinonoshizen.sakura.ne.jp	
自 由 記 載	【連絡先情報】 日野の自然を守る会　事務局 〒191-0062　日野市多摩平 3-12-2（江面方） 電話　042-583-6808 E_mail　mamorukai-info@hinonoshizen.sakura.ne.jp	

団　体　名	ひの・まちの生ごみを考える会
代 表 者 名	佐藤美千代
連 絡 方 法	ひの・まちの生ごみを考える会メール：info@namagomi-heraso.com ごみゼロ推進課：042-581-0444
団 体 案 内 （目的・趣旨）	当団体は生ごみ減量とたい肥化を広めるために2つの姉妹組織を持っています。当会独自の活動としては、毎月1回定例会を開き、毎回ごみゼロ推進課の職員も出席して各団体の活動についての情報共有や協議を行う一方、講演会やごみ情報誌「エコー」の市民のページなど市民への啓発活動を行っています。近年ではSNS（ホームページ・Facebook・LINE公式アカウント）を活用して啓発活動、オンライン講習会を毎月開催しています。 《生ごみリサイクルサポーター連絡会の活動》 2009 年3月に発足。2011年9月に生ごみを手軽にたい肥化できるダンボールコンポスト（基材：竹パウダー）を発売。使い方の講習会の開催、各種イベントでの展示・説明・PR活動を通して普及活動をしています。 《まちの生ごみ活かし隊の活動》 生ごみの地域循環型を目指して 2006 年5月に発足。2008 年10月に新井コミュニティガーデン「せせらぎ農園」を開設。近隣約200世帯から生ごみを回収して畑にすき込み、土ごと発酵させ、野菜や草花を栽培していたが、区画整理のため、いつでも撤去できるように生ごみ回収は 2022 年3月で終了し、現在は持ち込み生ごみを木枠のたい肥箱によってたい肥化して畑に使用し、野菜・草花を栽培しています。
設　立　年	2002 年
主な活動内容	・毎月第4金曜日定例会開催 ・ダンボールコンポスト使い方講習会 会場講習会（年間約 4 回）オンライン講習会（毎月 1 回） ・花壇プロジェクト 生活・保健センター正面玄関花壇、カワセミハウスの花壇を生ごみたい肥使用して管理 ・各種イベントにてPR活動 産業まつり、市民フェア、まち活、万願寺交流センター子どもまつりなど ・講演会開催 専門の講師をお招きして講演会を開催
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	ひの市民活動支援センター（※2024 年 4 月から施設移転予定）
活　動　日	毎月第 4 金曜日定例会　午後1時～午後 4 時
会　員　数	10 人 ＋ 日野市ごみゼロ推進課員
募　　集	随時
そ　の　他	
自 由 記 載	～人生 100 年時代捨てない暮らしを始めませんか～ 生ごみは燃やさなくても処理できます。しかも野菜を育てるのに欠かせないたい肥となる資源です。 資源をお金をかけて燃やすというこのおかしい現実。 ダンボールコンポストについてはもちろん、環境や家庭菜園について興味ある方勉強したい方も私たちと一緒に活動しませんか。役に立つ情報が得られるかもしれませんよ！

団　体　名	みどりワクワクチーム
代 表 者 名	中西　由美子
連 絡 方 法	みどりワクワクチーム in 日野(facebook のグループ) https://www.facebook.com/groups/1008756020526715 にメッセージ
団 体 案 内 (目的・趣旨)	昭和初期までは、燃料や用材として活用されてきたため、木が常に更新されてきました。材として活用することで、雑木林は若返り、CO2 の吸収量を上げたり、生物多様性を豊かにしたり、景観的にも明るい森を維持することにつながります。 現在、市内の雑木林は、使われなくなったコナラ・クヌギなどの木が大きくなりすぎて台風の被害で倒れたり、ナラ枯れ病などの被害も出てきています。そこで私たちは、市内の緑地を調査し、新しい活用法を探ることを目的に活動を始めました。 たとえばスウェーデントーチとしての活用もその一つのアイデアです。伐採したら処分費が掛かりますが、スウェーデントーチを制作することで、アウトドアブームにもマッチした活用ができると考えています。 実際に試したり、他にどんな活用ができるか、どう運用していけばよいのか、市内で活動しているみどり関係の団体の皆さんとお話しながら実行に移していけたらよいと考えています。
設　立　年	2021 年
主な活動内容	1.市内の市所有の緑地を調査し、管理計画を立て、緑地の管理・活用を進めていくこと。 市が所有している市内の緑地を、よりよく管理・活用することを目指し、現状を把握するためにまず緑地調査を実施しました。調査が終わり、今は緑地の活用タイプを分類し、活用方針を考えるとともに、整備のできる場所から手を入れていこうと準備しています。 2.日野市内の緑地で生まれる木材や竹材の活用を進めていくこと。 市内の緑地の木や竹を生活の中で材として活用することで、適切な植生管理を行っていくことを目指しています。保全活動団体の協力を得て、材を確保し、イベントでの活用などにより普及を図っていきます。　　写真：スウェーデントーチ
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	日野市の緑地
活　動　日	月に 1～2 回、都度日程を調整してミーティングと野外での活動をしています。
会　員　数	10 名程度
募　　集	興味ある人に活動に入ってもらう方式
そ　の　他	―
自 由 記 載	―

団　体　名	谷仲山緑地を守る会
代 表 者 名	笹木　延吉
連 絡 方 法	電話:090-6029-1811 e-mail:eisvogel311@jcom.zaq.ne.jp
団 体 案 内 (目的・趣旨)	谷仲山緑地は、神明上区画整理事業等により雑木林が緑地として公有化された主に日野台地の北斜面の雑木林を、明るい健全な雑木林に維持管理し、併せて里山の生物多様性を復活し、次の世代に引き継ぐ事を目的としています。カタクリ等の野草を保護し観察会などを実施しています。
設　立　年	2016 年
主な活動内容	○雑木林の管理(下草刈り、萌芽更新、粗朶柵工等)に関する作業 ○植生調査、野草の保護、蛍の調査活動 ○カタクリ祭りなどを開催 ○環境学習の推進 ○他団体との交流
主なﾌｨｰﾙﾄﾞ	神明第 3、第 5、第 6 緑地(日野市日野本町 3－6－1 他)
活　動　日	毎月第 3 日曜日午前 9 時 30 分～午後 3 時まで
会　員　数	16 名
募　　集	いつでも大歓迎
そ　の　他	2,000 円／年
自 由 記 載	カタクリ祭り:今まで滞っていた雑木林の管理を進めるうちに、カタクリの群落が毎年少しずつですが増えてきました。そこで、この貴重なカタクリの観察を通じて、市民の皆様に自然を守ることの大切さを共感して頂きたく、開花期である 3 月下旬の 1 週間ほどテントを張り、写真等を展示したカタクリ祭りを開催し皆様をご案内しています。 次ページに、団体紹介パンフレットを掲載

谷仲山緑地の野草・樹木

イチリンソウ

フイリハグロスミレ

ナガバノスミレサイシン

ハチオウジアザミ

ツクバトリカブト

キツネノカミソリ

タカオヒゴタイ

アブラチャン

ヤマトアオダモ

コクサギ

～谷仲山緑地とは～

谷仲山緑地は、昭和41年に始まった日野市施行の神明上土地区画整理事業により公有化された民有地を中心とした、主に日野台地の北斜面の雑木林です。しかしその後人の手による管理がほとんどされていない状態が続き、貴重種の野草たちが細々と生息していました。そこでボランティア活動によりこれを明るく健全な雑木林として管理し、野草たちを保護育成し、この自然環境を市民の皆様に公開することを目的に、平成28年5月「谷仲山緑地を守る会」を立ち上げました。

以降、今日までの私たちの地道な活動により、第3緑地はカタクリやキツネノカミソリ、第5緑地はニリンソウ、そして第6緑地ではニリンソウやハチオウジアザミなどの野草たちの大群落がみられるようになりました。また第6緑地の湧水（水辺のある風景日野50選のひとつ）付近では6月初旬ごろ淡いホタルの光が!!

～一緒に活動してみませんか～

私たちはボランティアとして明るく楽しく活動し１日を有意義に過ごすことの幸せを感じています。

活動場所：神明上第３・５・６緑地

活動内容：萌芽更新、粗朶柵作り、下草刈り、カタクリ等の野草保護、カタクリ祭（3月下旬）、ホタルの観察（5月下旬から1か月）

活動日　：毎月第3日曜日、9時半～15時

集合場所：谷仲山地区センター（日野市神明4-11-2）

年会費　：2,000円（ボランティア保険込み）

連絡先　：代表　笠木廷吉　電話 090-6029-1811
副代表 佐々木徹　電話 080-5409-5207
立川絹代　電話 090-1048-3445

谷仲山緑地を守る会

明るく健全な雑木林を次の世代に!!

2023.03制作

【神明上第3緑地のカタクリ祭】

今まで滞っていた雑木林の管理（下草刈り、萌芽更新など）を進めるうちに、カタクリの群落が毎年少しづつですが増えてきました。そこでこの貴重なカタクリの観察を通じて市民の皆様に自然を守ることの大切さを共感していただきたく、開花期である3月下旬の1週間ほどテントを張り、写真等を展示したカタクリ祭を開催し皆様のご案内をしています。

【日野市とのパートナーシップ協定締結】

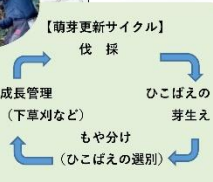
日野市と谷仲山緑地を守る会は、谷仲山緑地等を市内に残された貴重な動植物の生育環境が維持できる樹林地として位置づけ、カタクリ等希少生物の生育環境を維持・保全し、生物多様性に配慮した活動を進めていくこととしました。これに基づき、令和4年、両者は協力・連帯して「谷仲山緑地の管理・運営に関するパートナーシップ協定」を締結しました。この協定締結により私達の思いが次世代に引き継がれますように!!

谷仲山活動エリア・アクセス

日野駅から、第3緑地5分、第5緑地12分、第6緑地13分、湧水16分（いづれも駐車場はありません）

【萌芽更新】

放置されたままの大木を、秋から冬の間、木の活動が休む時期に伐採します。切り株からヒコバエと呼ぶ新芽が出てきて、世代交代（萌芽更新：右図）が進みます。



【雑木林の保全と管理】

その昔、筍や炭、堆に入れる落ち葉、農具や生活用具、食料にいたるまで、生活に必要なものを雑木林からまかなっていた暮らしがありました。しかし昭和30年代以降の燃料革命等により、雑木林には昔のような薪炭材、農用林としての重要な役割がなくなりました。雑木林は、人の手が入ることで豊かな自然のバランスが保たれますが、手入れを怠ると数年で藪になり、生物多様性もなくなります。下草刈りや萌芽更新作業など、昔の人に代わり弘法ボランティアが努力することで、雑木林が息を吹き返します。

【下草刈り】

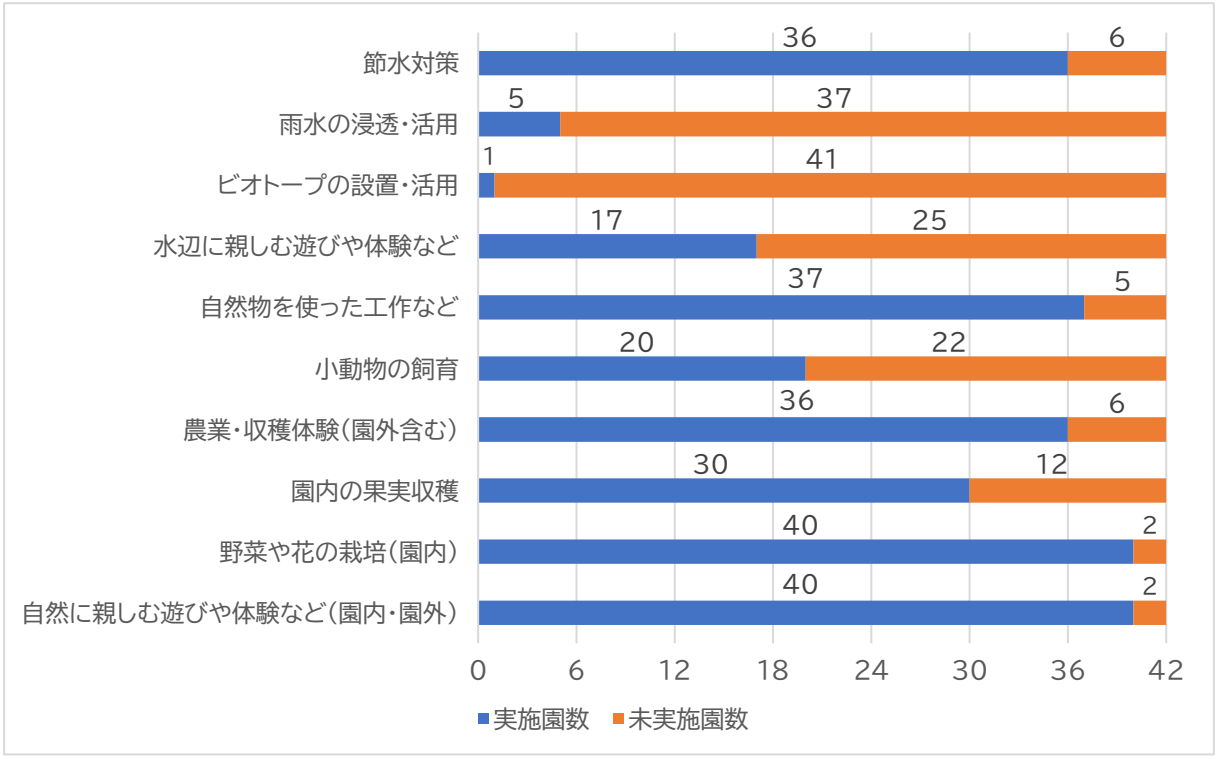
ササは放っておくとどんどん高く育ち、他の植物が入り込む余地がなくなってしまいます。ササなどの下草刈りを定期的に繰り返すことで草地全体の草丈が低く抑えられ、植物の多様性が保たれます。

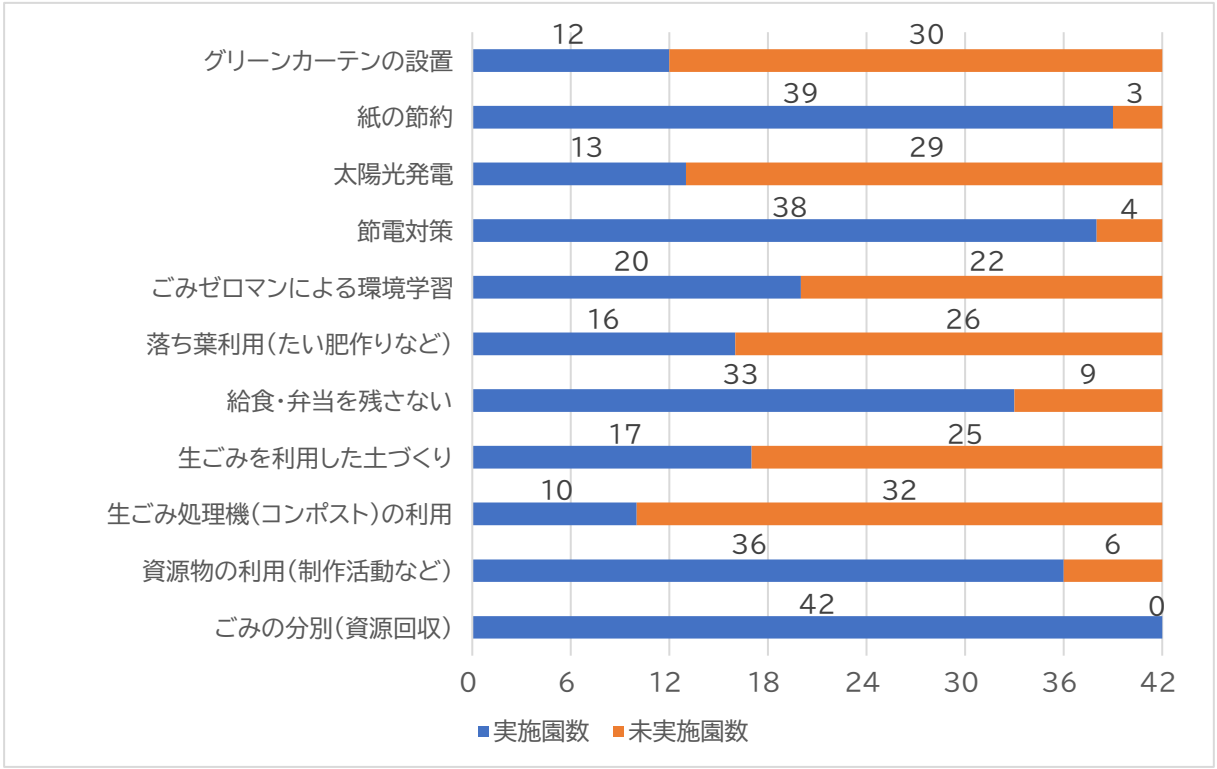
【粗朶（ソダ）柵作り】

木を1木伐採すると多くの枝を整理しなければなりません。斜面の土留めもかねて、杭を打ち、そこに適当な長さに切りそろえた枝（粗朶）を積み上げていきます。

2章　幼稚園・保育園における環境への取組状況

この章では、幼稚園・保育園の環境への取組状況を紹介いたします。21項目の環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、市内幼稚園10園・市内保育園 32 園から回答が得られました。





アンケート項目以外のその他の取組・独自の取組としては以下の回答がありました。

回答園名
日野市立第二幼稚園
取組内容
命の教育の一環として、小動物（ウサギ、かめ、メダカ、金魚、花、野菜）の命をつなげるために自分たちがその世話を継続して行わなくてはならないという意識を育てる取組に力を入れている。幼稚園は、春、夏、冬に長期休業期間があるが、その期間も継続して世話を行う必要性に気づかせ、主体的に世話に取り組めるように関わっている。

回答園名
日野市立みなみだいら保育園
取組内容
・毎月、食材に関するクイズや行事会、食事会などの話をわかりやすく伝えている。 食育にも関わりながら取り組んでいる。→食育ピクトグラムを知らせている。 ・昨年に続き、「節電」「節水」「ごみの分別」「整理整頓」を加えて、手作りベープサート、絵本を利用して伝えている。SDGsにつなげていくように工夫している。

回答園名
日野市立みさわ保育園
取組内容
近隣にある「せせらぎ農園」に、月 1 回幼児クラスが訪問し、農作物の植え付けや収穫体験、有機農法による畑や水田づくりに参加させていただいています。

回答園名
日野市立たかはた台保育園
取組内容
給食室が廃棄した野菜くずを使用して、土づくりを行いました。（4.5 歳児の子ども達が実施） 野菜の栽培を行い、収穫を楽しみました。

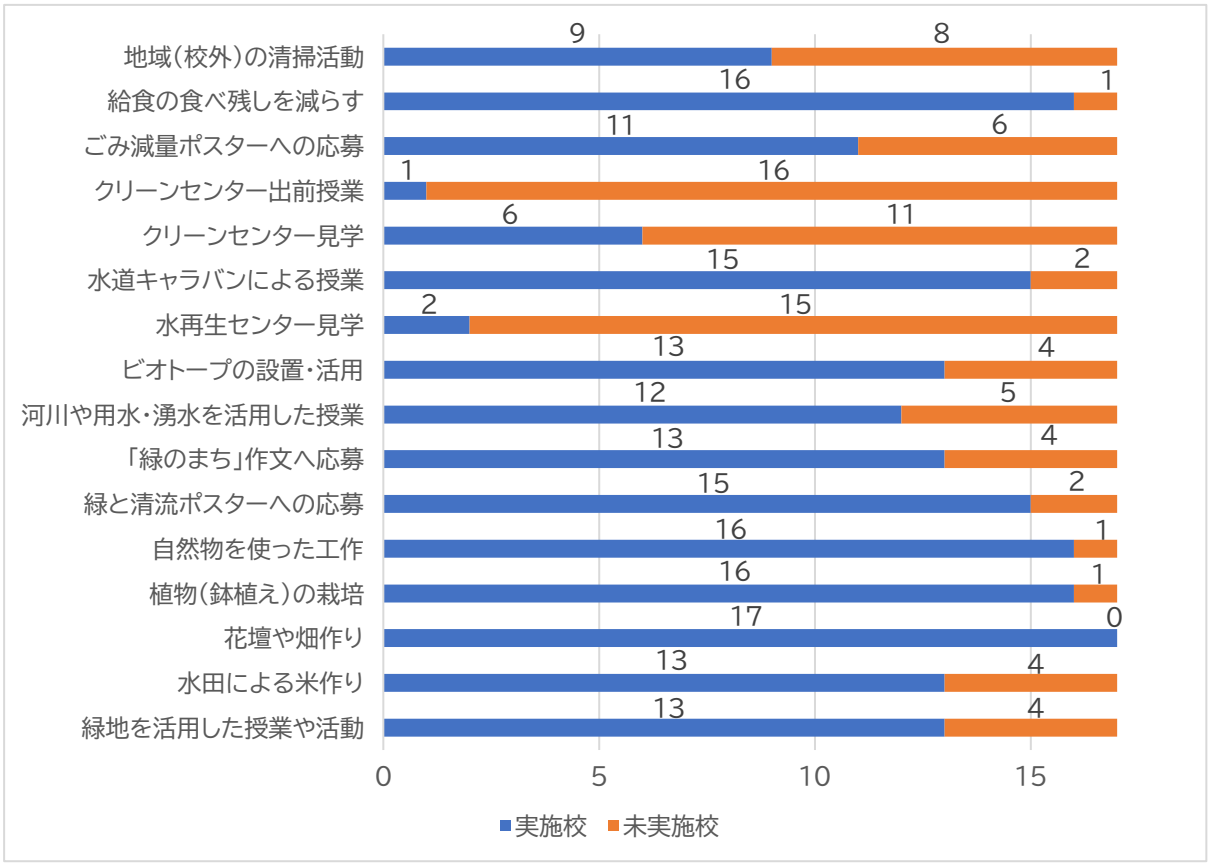
回答園名
日野わかば保育園
取組内容
収穫野菜の調理体験

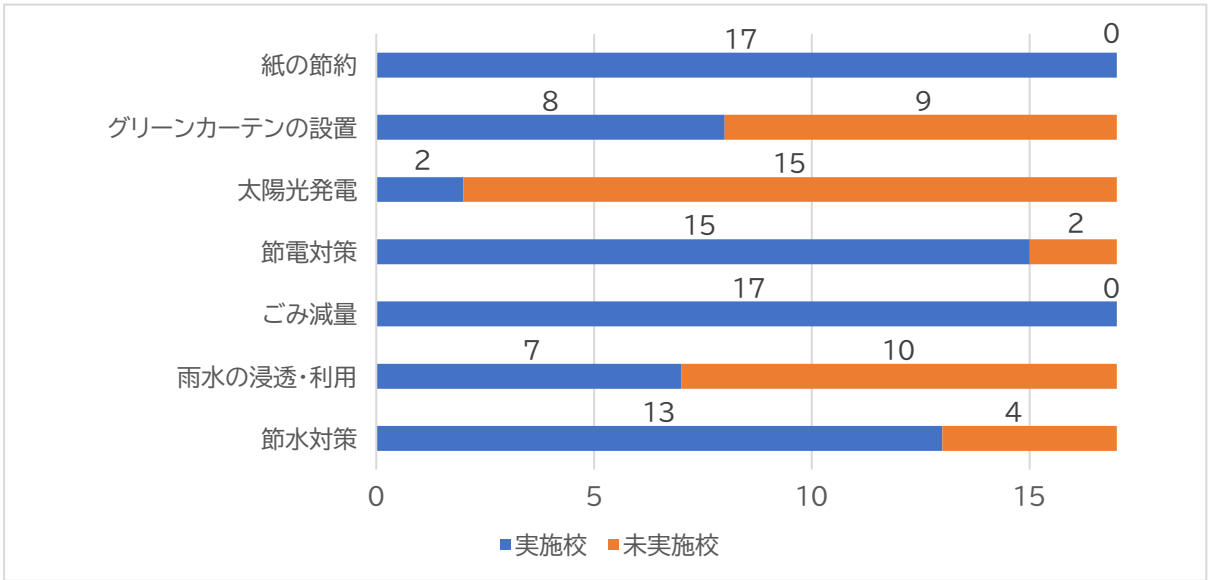
回答園名
むこうじま保育園
取組内容
コンポストの利用と園で出た落ち葉を使って、たい肥を作り、畑作りをしています。 コンポストも市役所の講習を受け、木箱を作り、幼児組が生ごみを毎日入れています。 今年度はグリーンカーテンにも挑戦したいと思っています。

回答園名
（園名非公開希望）
取組内容
プールの残り水を園庭や芝に散布する。

3 章　小学校における環境への取組状況

この章では、小学校の環境への取組状況を紹介いたします。23項目の環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、市内小学校 17 校から回答が得られました。





アンケート項目以外のその他の取組・独自の取組としては以下の回答がありました。

回答学校名
日野市立日野第四小学校
取組内容
・巣箱の設置（6 年生） ・どんぐりクラブを招いての活動（自然物の工作） ・ダンボールコンポスト（4 年生）「日野っ小ごみプロジェクト」 ・多摩川プロジェクト（3 年生） ・収穫祭（5 年生） ・環境委員会 ・環境ボランティア

回答学校名
日野市立日野第六小学校
取組内容
・「おたまが池」の自然観察 ・栽培委員会による花の栽培 ・SDGsに関わる各学年での探究的活動（地域の農家、企業、大学等の連携） ・バケツ稲の栽培及び米の学習

回答学校名
日野市立平山小学校
取組内容
3・4 年生全員で菊作りに取り組んだ。 日野市産業まつりへ代表児童が出展した。 自分たちで作った金ゴマや古代米を児童が販売活動しました。

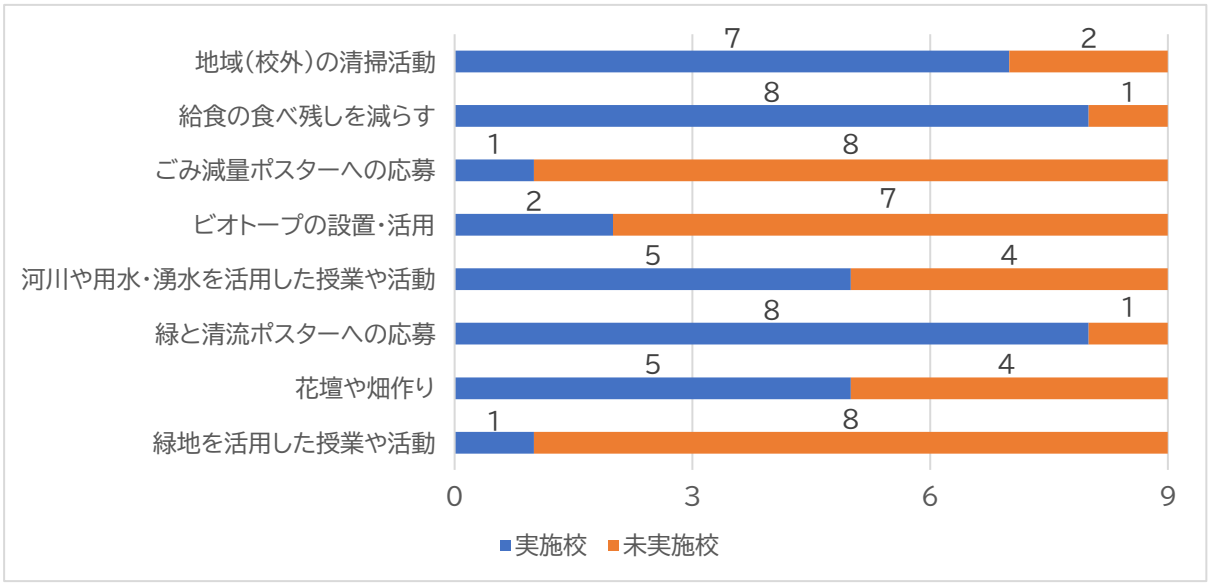
回答学校名
日野市立日野第八小学校
取組内容
SDGsに関することを調べて発表する「八小ESDミーティング」「八小自由研究発表会」

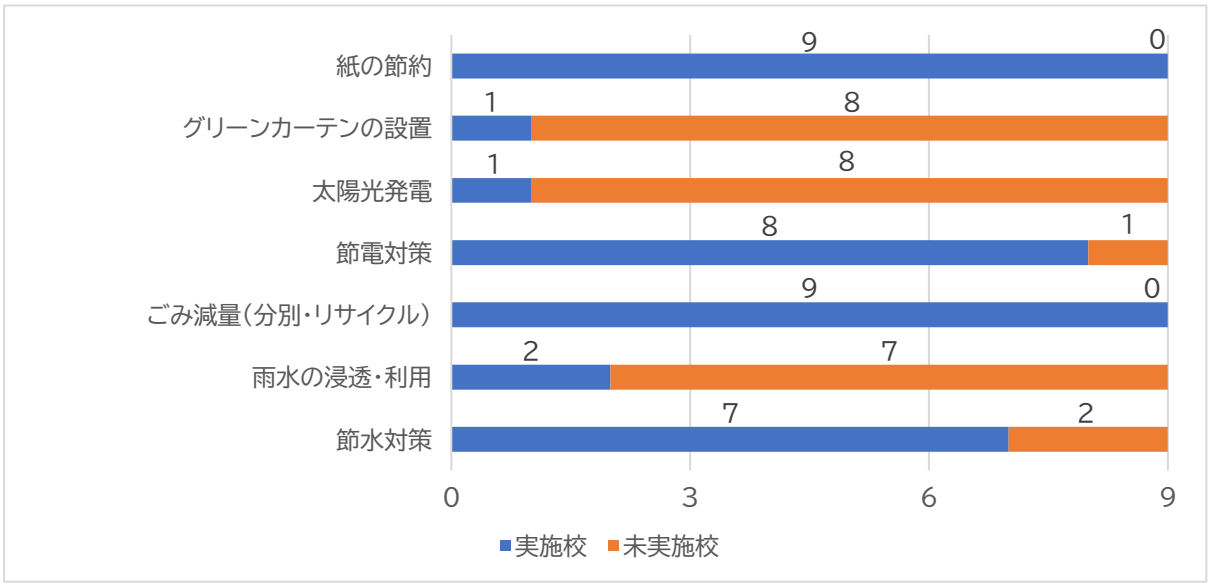
回答学校名
日野市立滝合小学校
取組内容
総合的な学習の時間で、3 年生が「ビオトープ復活大作戦」を行い、すんでいる生き物を調べる活動、現状を把握して課題を見付けて保護者や地域の人と一緒に清掃活動（泥さらい、落ち葉拾い）を行いました。また、環境保全課、緑と清流課の皆様のご協力を受け、数年計画でビオトープの淵を整える作業が始まりました。滝合小学校の学習資源、環境資源としてビオトープを各学年が有効に活用できるよう、また、日野市の貴重な環境資源としても市内へ発信して、専門家や先進校のアドバイスを受けながら維持管理をしていきたいと思います。

回答学校名
日野市立東光寺小学校
取組内容
1） 全校一人一鉢栽培 1 年生　チューリップ 2 年生　クロッカス 3 年生　ミラクルビーム 4 年生　ホウセンカ 5 年生・6 年生　菊 2）地域の農家の方のご指導・ご協力による ①種まきからの稲作 ②校庭芝生の維持管理 ③梨園の観察学習 ④東光寺大根（種まき・おろぬき・収穫・たくあん漬け体験）給食への活用 ⑤玉ねぎ（種まき・収穫体験）給食への活用 ⑥和食器を使った給食体験

4章　中学校・高校における環境への取組状況

この章では、中学校・高校の環境への取組状況を紹介いたします。15 項目の環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、市内中学校8校、高校1校よりアンケートの回答が得られました。





アンケート項目以外のその他の取組・独自の取組としては以下の回答がありました。

回答学校名	
日野市立日野第一中学校	
取組内容	
生徒会	ペットボトルキャップの回収
美化委員会	コンタクトレンズケースの回収・ゴミの分別の呼びかけ・花壇に花をうえる
給食委員会	給食の残菜を出来るだけ減らす
その他	簡易的なミストシャワーを門の屋根に設置した（一定期間のみ設置）

回答学校名
（学校名非公開希望）
取組内容
・生徒会によるエコキャップ回収 ・給食委員会による牛乳飲み残し0（ゼロ）の呼びかけ、ポスター作製 ・裏紙の利用 ・資源ゴミの分別 ・節水、空き教室の消灯の励行 ・PTA、ボランティア部による校内外の清掃

5 章　大学による環境への取組状況

【実践女子大学】 環境への取組

〒　日野市大坂上 4-1-1（☎042-585-8817）

URL https://www.jissen.ac.jp/

【取組内容】

実践女子大学日野キャンパスでは、生活科学部の学生約 1,800 名が学んでいます。本学は、各キャンパスにエネルギー管理責任者を置き、エネルギー管理を行うと共に、教職員や学生に対して省エネルギーや温室効果ガス排出削減に関する啓発活動を展開しています。具体的には、地球温暖化防止・省エネ意識醸成のため、全学的な「クールビズ」「ウォームビズ」を実施しています。その他、毎月の電気使用量を学園イントラネットで周知したり、各教室の入口に退出時の照明・空調オフを促すシールを貼付したりするなど、一人一人の省エネ意識を高める工夫をしています。

また、学生主体の取組では現代生活学科の環境・エネルギーゼミの学生が、エレベーターに階段利用を勧めるポスターを掲示したり、学内のリサイクル活動（ペットボトルキャップ、使い捨てコンタクトレンズの空ケース、歯ブラシ、スポンジを回収）をしたりと、積極的に活動しています。

今後も、照明の LED 化や機器更新の際は省エネタイプのものを採用するなどして、エネルギー消費量の削減に努めてまいります。

【明星大学】 環境への取組

〒191-8506 日野市程久保 2-1-1（☎042-591-5111）

URL https://www.meisei-u.ac.jp/

【取組内容】

明星大学は、環境への取組に3つの方向性で取り組んでいます。

1, 地域とのつながりに基づいた環境への取組

日野市のごみ袋をデザイン

産官学（日野市・イオンリテール株式会社・明星大学）で連携協力して、実施する日野市指定「レジごみ袋」を全国で初めて作成しました。2022 年 9 月から 2024 年 3 月まで、イオンスタイル多摩平の森と日野市内のセブンイレブン店舗にて販売予定です。

日野市ごみ袋

デザインセッション多摩での取組

2023 年 3 月 5 日には、デザイン学部が行う「デザインセッション多摩」にて「みどりのオープンキャンパス」をテーマに多摩地域の 10 の大学と連携し、大学緑地活用策について活発な議論を行いました。

10 大学をめぐる動画

2, 学内の豊かな自然を利用した環境への取組

「明星 SATOYAMA プロジェクト 2022-2025」が始動

学内の緑地を中心に据えて、学部を超えた学生・教職員、地域の皆様、近隣の大学、近隣自治体など多様な人々と交わりながら、広がるプロジェクトです。

2022 年度は、経営学部による学内緑地の評価やそれに基づいた理工学部による植栽の実施、カーボンニュートラルの達成度（すでに達成）の評価、地域の人々と一緒に自然観察道具をつくるワークショップを行いました。

自然観察道具ワークショップ動画

3, デジタルツールを用いた環境への取組

SDGs ポイントの取組

学内の多くの学生さんが SDGs の取組を登録し、それをポイント化し、ポイントの高い方を表彰し、SDGs の取組を加速させる取組をしています。本取組は脱炭素チャレンジカップにおいて最優秀賞を受賞しました。

6 章　事業者における環境への取組状況

【セイコーエプソン(株)　日野事業所】 環境への取組

〒191-8501 日野市日野 421-8 (☎042-586-6226)

URL:https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/

「省・小・精」から生み出す価値で人と地球を豊かに彩る

2022 年 9 月、エプソンはパーパスを制定しました。エプソンが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと信じています。「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。私たちは、そんな想いを実現していきます。

エプソンでは、『環境ビジョン 2050』として、2050 年に「カーボンマイナス」と「地下資源*1 消費ゼロ」を達成し、持続可能でこころ豊かな社会を実現することを目指しています。

このありたい姿の実現のため、長期ビジョン『Epson25 Renewed』における「環境」カテゴリーでは、“脱炭素”と”資源循環”に取り組むとともに、環境負荷低減を実現する商品・サービスの提供、環境技術の開発を推進しています。

1. 脱炭素
   再生可能エネルギー活用／設備の省エネ／温室効果ガス除去／脱炭素ロジスティクスなど
2. 資源循環
   資源の有効活用：小型軽量化、再生材活用／生産ロス極小化／リファービッシュ、リユースなど
3. お客様のもとでの環境負荷低減
   低消費電力化／長寿命化／消耗品・交換部品の削減／印刷のデジタル化など
4. 環境技術開発
   ドライファイバーテクノロジー応用／天然由来素材(脱プラ)／CO2 吸収技術など

資源循環の取組では、2023 年 5 月 9 日より、エプソンダイレクト(株)にて、PC のリファービッシュ品(再生品)の販売を開始しました。

*1 原油、金属などの枯渇性資源

【日野事業所の活動について】

当事業所はセイコーエプソンとグループ会社で構成されており、環境活動は共通課題の「省エネ」、「省資源・再資源化」、「地域社会貢献」を3本柱として、連携・協力して推進しています。

1. 省エネ活動

事業所内の空調機器について、2012 年度より省エネ機器への更新を進めています。また照明は LED 化を行い、これらの設備の省エネ化により、事業所の最大電力について約 100kW（冷蔵庫で約 500 台分相当）の削減を達成しました。

2. 省資源・再資源化

2022 年度に事業所から排出した廃棄物は、全体の 38%が紙類、10%が金属くず、39%がプラスチックで、そのほとんどを再資源化しています。

またオフィスでは、インクジェットプリンター複合機の導入の他、乾式オフィス製紙機『ペーパーラボ』で製造した再生紙の利用により、環境負荷の低減を図っています。

＜インクジェットプリンター複合機の特徴＞　※カラーレーザー方式との比較

① 低消費電力（消費電力量を約 80%削減）

② 消耗品が少ない（消耗品の排出量が地球温暖化負荷（CO2 換算）で約 92%削減）

3. 地域貢献活動

春・秋の日野市内一斉清掃への参加、エコキャップ活動等を実施。2012 年から実施している当社製使用済みインクカートリッジの回収では、2022 年度は 5,195 ポイントをベルマーク教育助成財団経由で寄贈。資源の有効活用と廃棄物の削減により地球環境保全を図りながら、教育支援という社会貢献活動への参画を実現しています。

2022.11.27　事業所周辺の清掃活動を実施しました

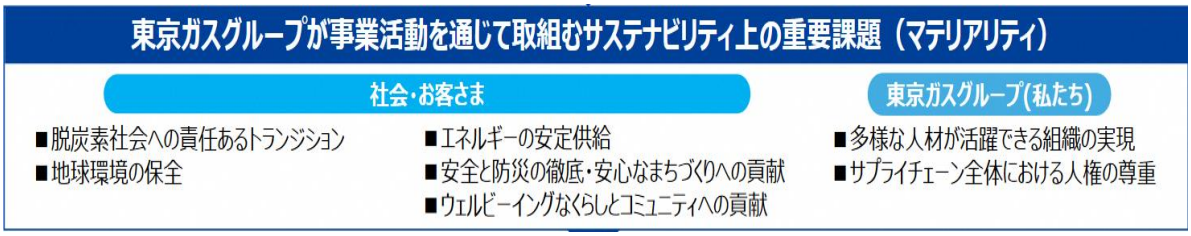
【会社名】 東京ガスネットワーク(株)東京西支店　 環境への取組

〒190-0012　立川市曙町 3-6-13 (042-526-6125)

東京ガスグループは「事業活動を通じた社会課題の解決によって社会価値および財務価値を創出し、永続的な企業経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献していくこと」をサステナビリティ推進の考え方としています。この考え方のもと、事業活動を通じてサステナビリティ上の重要課題に取組、SDGs の達成に幅広く貢献していくことを目指しています。

【サステナビリティ推進の考え方】

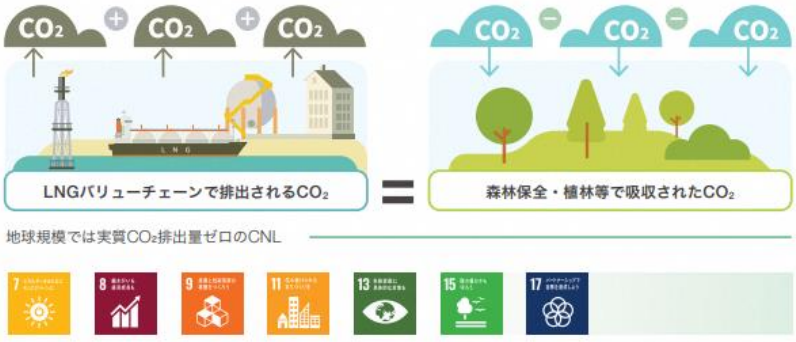
【サステナビリティ上の重要課題】



【取組事例】

1. 天然ガスの高度利用

石炭・石油等から天然ガスへの燃料転換、高効率機器の導入、スマートエネルギーネットワークの高度化等、天然ガスによる低炭素化に加え、カーボンニュートラル LNG(以下、CNL)の普及も進めています。CNL は「LNG による CO2 排出」を「新興国等の環境保全プロジェクトでの CO2 削減」で相殺した、実質 CO2 排出量ゼロのガス体エネルギーです。環境保全プロジェクトは現地での雇用創出や生物多様性保全にも貢献します。このように、低・脱炭素化の社会的コスト抑制をはじめ、多様な価値を創出しながら CO2 ネット・ゼロへの移行をリードしています。



2. 再生可能エネルギー電源の拡大

2030 年の再生可能エネルギー電源取扱量目標を 600 万 kW としています。国内・海外において太陽光、風力、バイオマス等の電源開発を行い、2023 年 3 月末には約 163.3 万 kW の取扱量となりました。また、太陽光パネルや陸上風力の風車を設置する適地が少ない国内では、特に洋上風力に積極的に取り組んでおり、茨城県鹿島港における洋上風力発電事業の推進や、浮体式洋上風力開発に向けた技術獲得等を進めています。

アクティナ太陽光発電事業

洋上風力発電向け浮体基礎システム

3. エネルギーセキュリティ

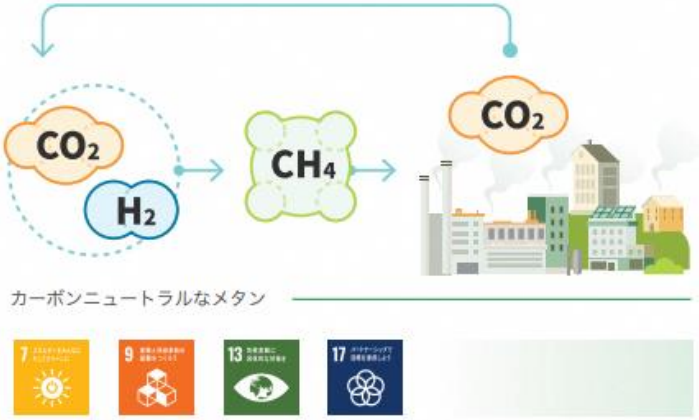
エネルギーの安定供給に向けて、安定的に安価で柔軟性のある LNG 調達に努める他、インフラの強靭化や、分散型エネルギーシステムの拡大等にも取り組んでいます。さらに、東京ガスネットワーク(株)では、地震や風水害等の災害に対しても過去の経験等を踏まえ、より万全な対策を進化させてきました。今後も「決してエネルギーを止めてはならない」という使命感のもと、お客さまの安心・安全を支え続けています。

LNG基地

経年ガス管の取り替え

4. メタネーション技術開発

メタネーションとは、水素と CO2 から、都市ガスの主成分であるメタンを合成する技術。合成メタンは CO2 を原料に使うため、燃焼させても大気中の CO2 は増えません。また、既存の都市ガスインフラを用いて供給が可能なので、経済的に CO2 ネット・ゼロを目指すことができます。
現在メタネーション技術の社会実装に向けて実証試験を行っており、今後は地域のカーボンニュートラル化に向けた地産地消モデルの検討や、サプライチェーンの構築等につなげていきます。



5. 学校教育支援活動

東京ガスネットワーク(株)では、20 年以上にわたり学校教育支援活動に取り組んでいます。
社員による、エネルギーや環境に関する出前授業を実施する他、Web サイトには講義内容の動画も掲載し、2023 年 3 月末時点での累計受講児童生徒数は 118 万人以上となりました。また先生方を対象とした教員向け研修会も実施し、学習プランに活用できる情報を、施設見学やグループワークを通じて提供することで、未来を担う子どもたちにエネルギーと環境の大切さを伝えています。

エコクマ、エコアラ（裏表紙の絵）

地球温暖化ですんでいるところを追われ、東京都日野市にやってきたエコクマ。日野市の多摩動物園で生まれたエコアラ。地球温暖化に心を痛め、エコ活動を始めたよ。

２人で力を合わせてがんばるぞ。応援よろしくね！

令和４年度（２０２２年度）
日野市環境活動情報レポート

発行：令和５年（２０２３年）　月　日野市
編集：日野市環境共生部環境保全課
〒191-8686　東京都日野市神明 1-12-1
TEL　042-514-8294
URL　https://www.city.hino.lg.jp
身近な生きものと共生できる環境を次世代につなごう！